令和３年７月 12 日
青森県病害虫防除所

令和３年度水稲害虫トラップ情報（７月上旬）

１　アカヒゲホソミドリカスミカメ

（１）予察灯

第１世代成虫の誘殺時期は平年並であり、誘殺数は青森及び八戸でほぼ平年並、木造で平年より少なく推移している。今後は３地点とも誘殺数が増加すると予想され、最盛期は７月中下旬になると考えられる。

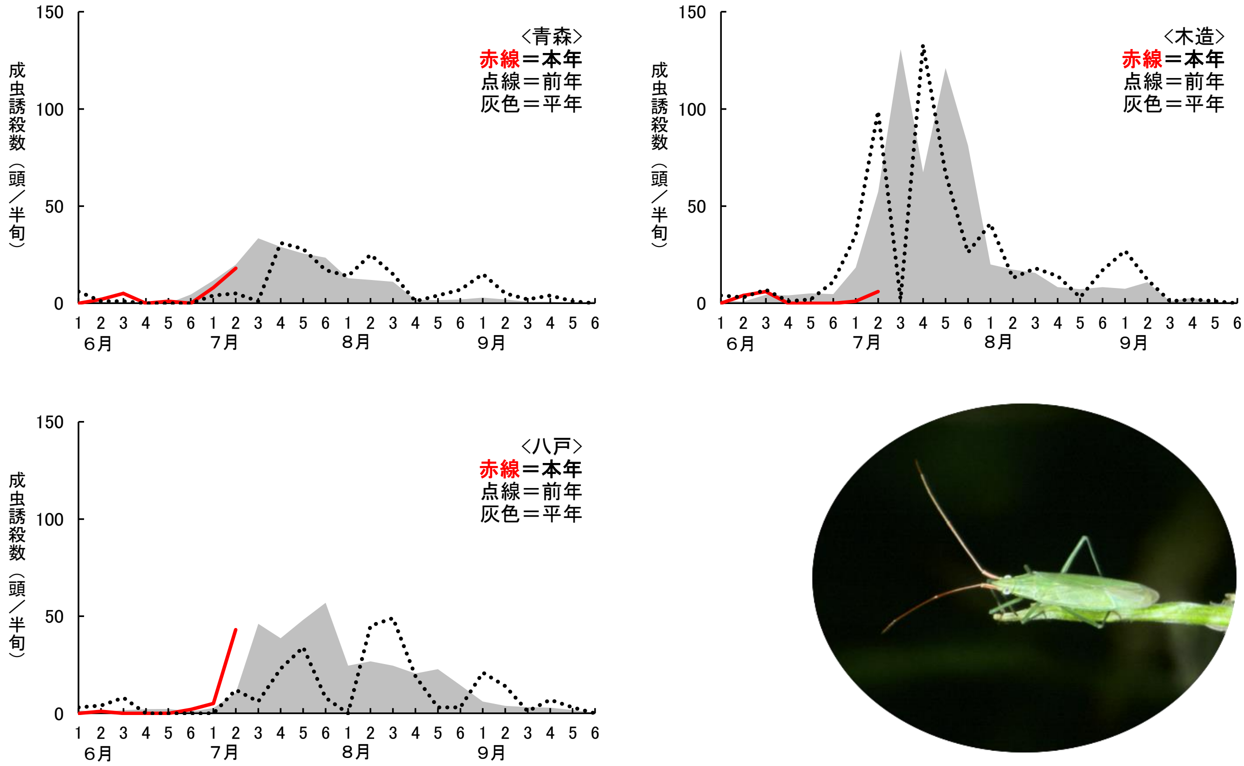

図１　予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

（２）性フェロモントラップ【畦畔】

現在、第１世代が誘殺されており、誘殺数は七戸が平年より多く、青森、木造及び八戸は平年並、鶴田及び十和田は平年よりやや少なく推移している。

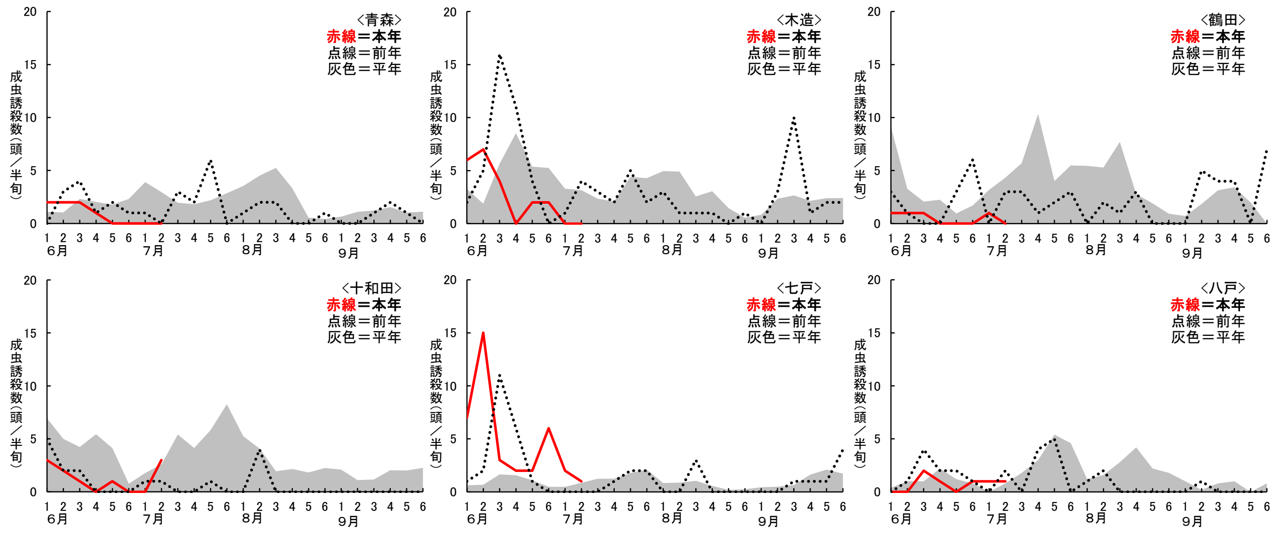

図２　性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

注）平年値は、青森・十和田・七戸が前10か年、木造が前９か年、鶴田が前６年と平成23年、八戸が前５か年の平均値。

２　アカスジカスミカメ

（１）予察灯

越冬世代成虫の誘殺時期は、木造で平年より早く、青森及び八戸で平年並であった。誘殺数は青森で平年より多く、木造及び八戸で平年並に推移している。

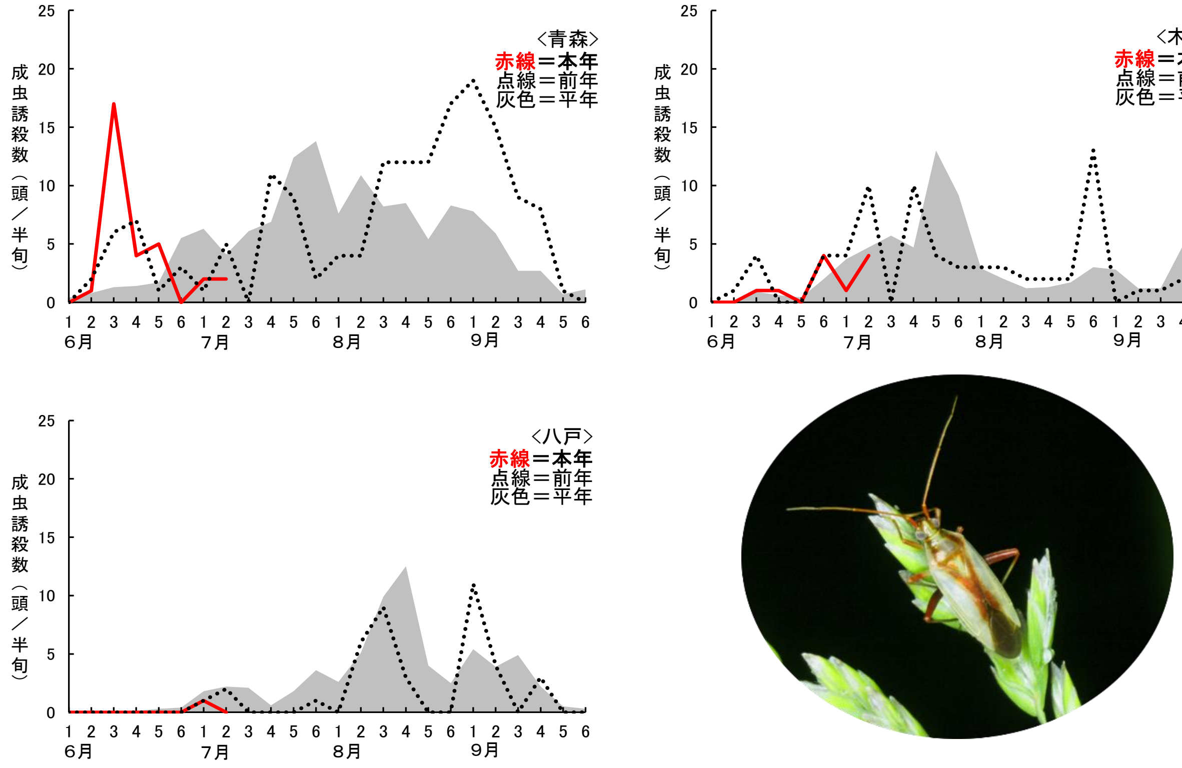

図３　予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

（２）性フェロモントラップ【畦畔】

越冬世代成虫は、青森、木造及び鶴田で６月上旬から、十和田、七戸及び八戸で６月中旬から誘殺されており、誘殺数は全地点で平年より多く推移している。

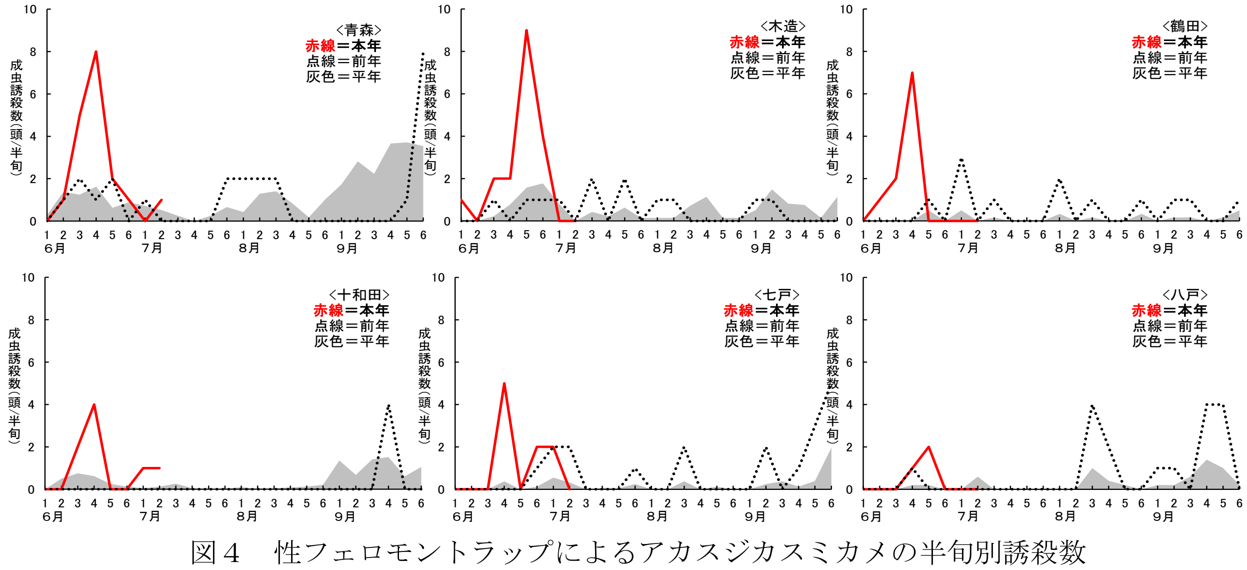

図４　性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

注）平年値は、青森・十和田・七戸が前８か年、木造が前７か年、鶴田が前６年、八戸が前５か年の平均値。

３　フタオビコヤガ

（１）予察灯

第１世代成虫の誘殺は６月中旬～７月上旬に見られ、誘殺数は木造で平年より多く、青森で平年並、八戸で平年よりやや少なく推移している。

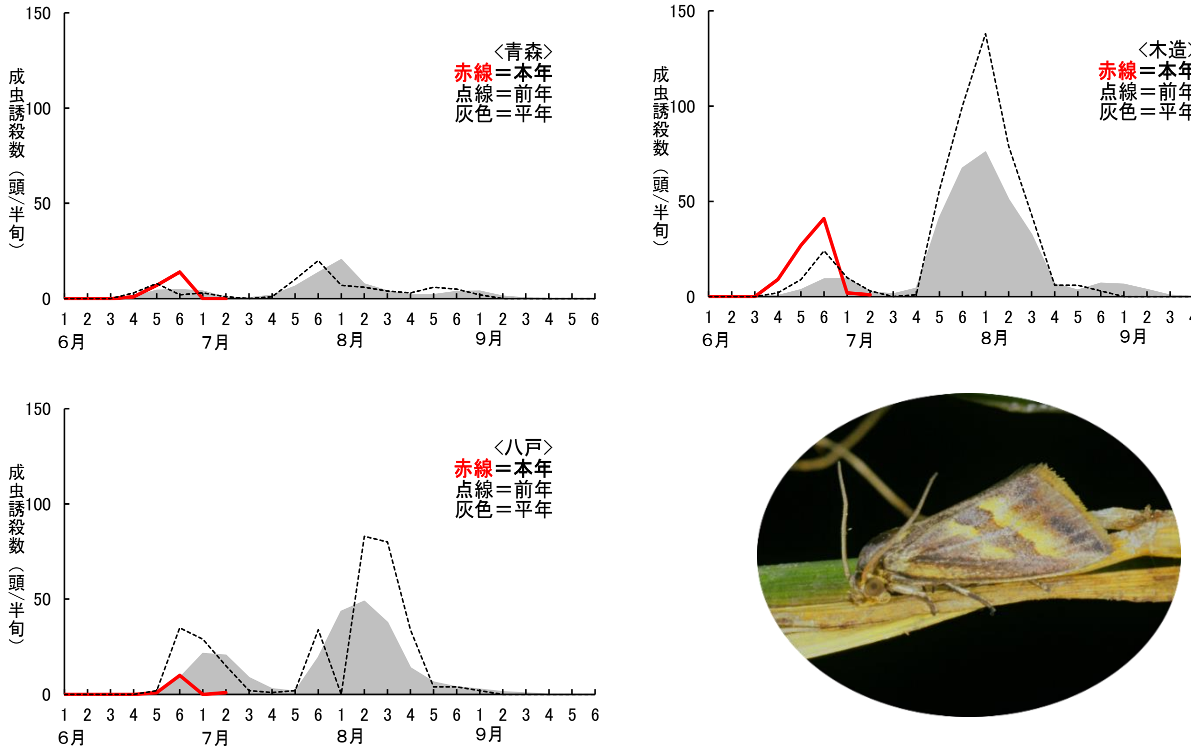

図５　予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

（２）性フェロモントラップ【畦畔】

第１世代成虫の誘殺時期は６月中旬～７月上旬で、誘殺数は木造及び鶴田で平年より多く、青森、十和田、七戸及び八戸で平年並に推移している。

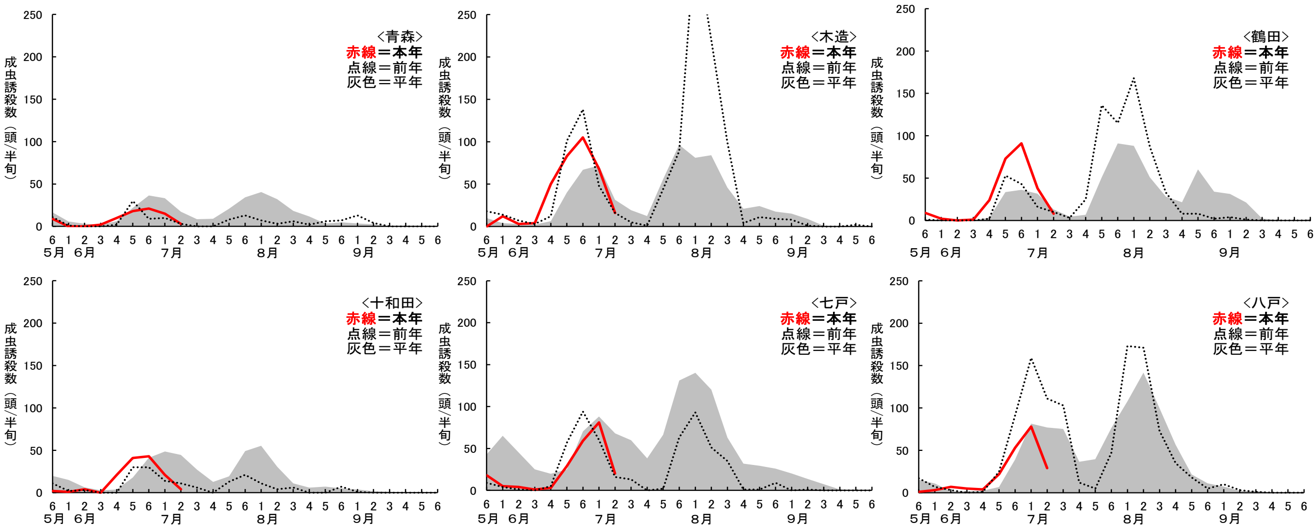

図６　性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

県民の皆さまへのお願い
新型コロナ感染拡大防止
https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html

【この情報に関する問合せ先】　青森県病害虫防除所 担当：技師 濱端 駿
〒030-0113 青森市第二問屋町 4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900